

I 調査の概要

1 調査目的

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（以下、「配偶者暴力防止法」という。）第 25 条では、「国及び地方公共団体は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に資するため、加害者の更生のための指導の方法、被害者の心身の健康を回復させるための方法等に関する調査研究の推進並びに被害者の保護に係る人材の養成及び資質の向上に努めるものとする。」と規定している。

また、第 3 次男女共同参画基本計画では、「女性に対する暴力についての的確な施策を実施し、社会の問題意識を高めるため、被害等の実態を把握することを目的とした調査を、今後も定期的・継続的に実施するとともに、女性に対する暴力の実態が的確に把握できるデータの在り方を検討する。」と規定している。

これまで、平成 11 年度、14 年度、17 年度、20 年度に、全国 20 歳以上の男女 5,000 人（17 年度以前は 4,500 人）を対象に、無作為抽出によるアンケート調査を実施している。前回調査から 3 年後に当たる本年度は、過去の調査を踏まえつつ、国内の男女間における暴力の実態を把握する。

2 調査項目

- (1) 配偶者暴力防止法についての認知
- (2) 夫婦間での行為についての暴力としての認識
- (3) 配偶者からの被害経験
- (4) 交際相手からの被害経験
- (5) 異性から無理やりに性交された経験（女性のみ）
- (6) 男女間の暴力を防止するために必要なこと
- (7) 政府による広報の周知

3 調査対象

- (1) 母集団 全国 20 歳以上の男女
- (2) 標本数 5,000 人
- (3) 抽出法 層化二段無作為抽出法

4 調査時期

平成 23 年 11 月～12 月

5 調査方法

郵送留置訪問回収法

（回収は、対象者自身が回収用封筒に記入済みの調査票を密封したものを、調査員が回収した。また、対象者本人が希望した場合には、郵送回収とした。）

6 調査実施委託機関

株式会社 日本リサーチセンター

7 回収結果

(1) 有効回収数（率） 3,293 人（65.9%）
 （内訳） 女 1,751 人 男 1,542 人

性・年齢階級別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率		
			%				%		
女	20～29歳	319	210	65.8	男	20～29歳	299	154	51.5
	30～39歳	387	261	67.4		30～39歳	414	239	57.7
	40～49歳	418	296	70.8		40～49歳	420	250	59.5
	50～59歳	397	301	75.8		50～59歳	397	264	66.5
	60歳以上	1,044	683	65.4		60歳以上	905	635	70.2
計	2,565	1,751	68.3	計	2,435	1,542	63.3		

(2) 回収不能数（率） 1,707 人（34.1%）

回収不能理由内訳

転居	12	（0.2%）
長期不在	86	（1.7%）
短期不在	460	（9.2%）
住所不明	52	（1.0%）
拒否	613	（12.3%）
調査票不達	16	（0.3%）
白票	108	（2.2%）
郵送依頼未回収	165	（3.3%）
その他	195	（3.9%）

〔参考〕過去の調査

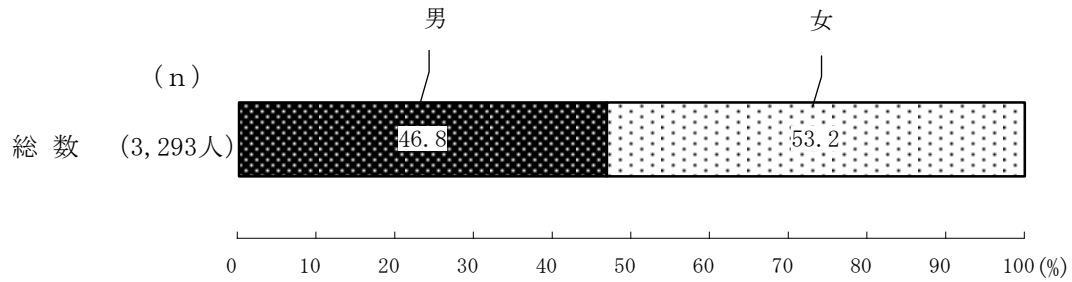
- 平成 20 年度「男女間における暴力に関する調査」（内閣府）
 満 20 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 3,129 人（62.6%）
 ＊本文中では、「平成 20 年度調査」と表記している。
- 平成 17 年度「男女間における暴力に関する調査」（内閣府）
 満 20 歳以上の男女 4,500 人、有効回収数 2,888 人（64.2%）
 ＊本文中では、「平成 17 年度調査」と表記している。
- 平成 14 年度「配偶者等からの暴力に関する調査」（内閣府）
 満 20 歳以上の男女 4,500 人、有効回収数 3,322 人（73.8%）
- 平成 11 年度「男女間における暴力に関する調査」（内閣府）
 満 20 歳以上の男女 4,500 人、有効回収数 3,405 人（75.7%）

8 回答者の属性

(1) 性別

F 1 あなたの性別。(○は1つ)

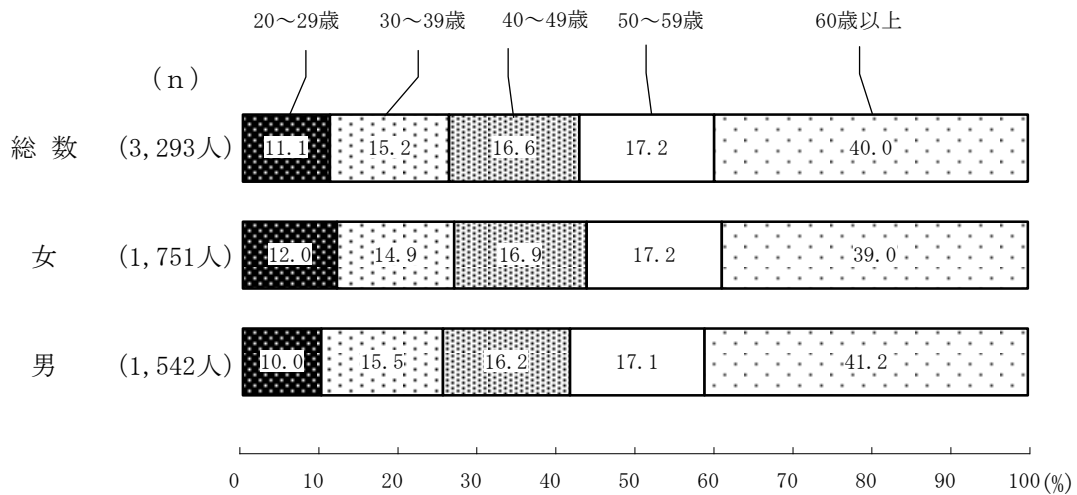
図1 性別



(2) 年齢

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。

図2 年齢



(3) 職業

F 3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)

図3 職業

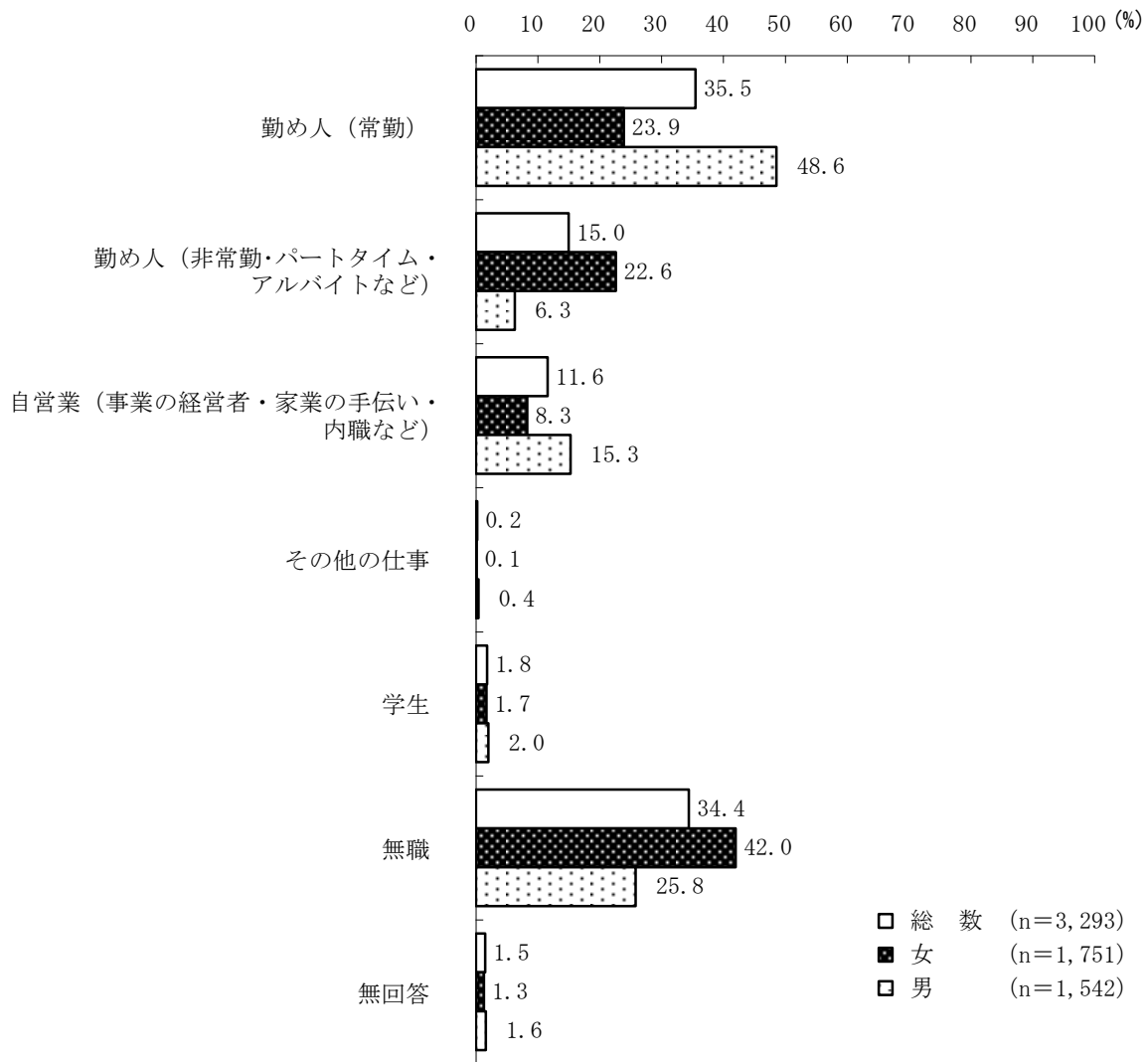
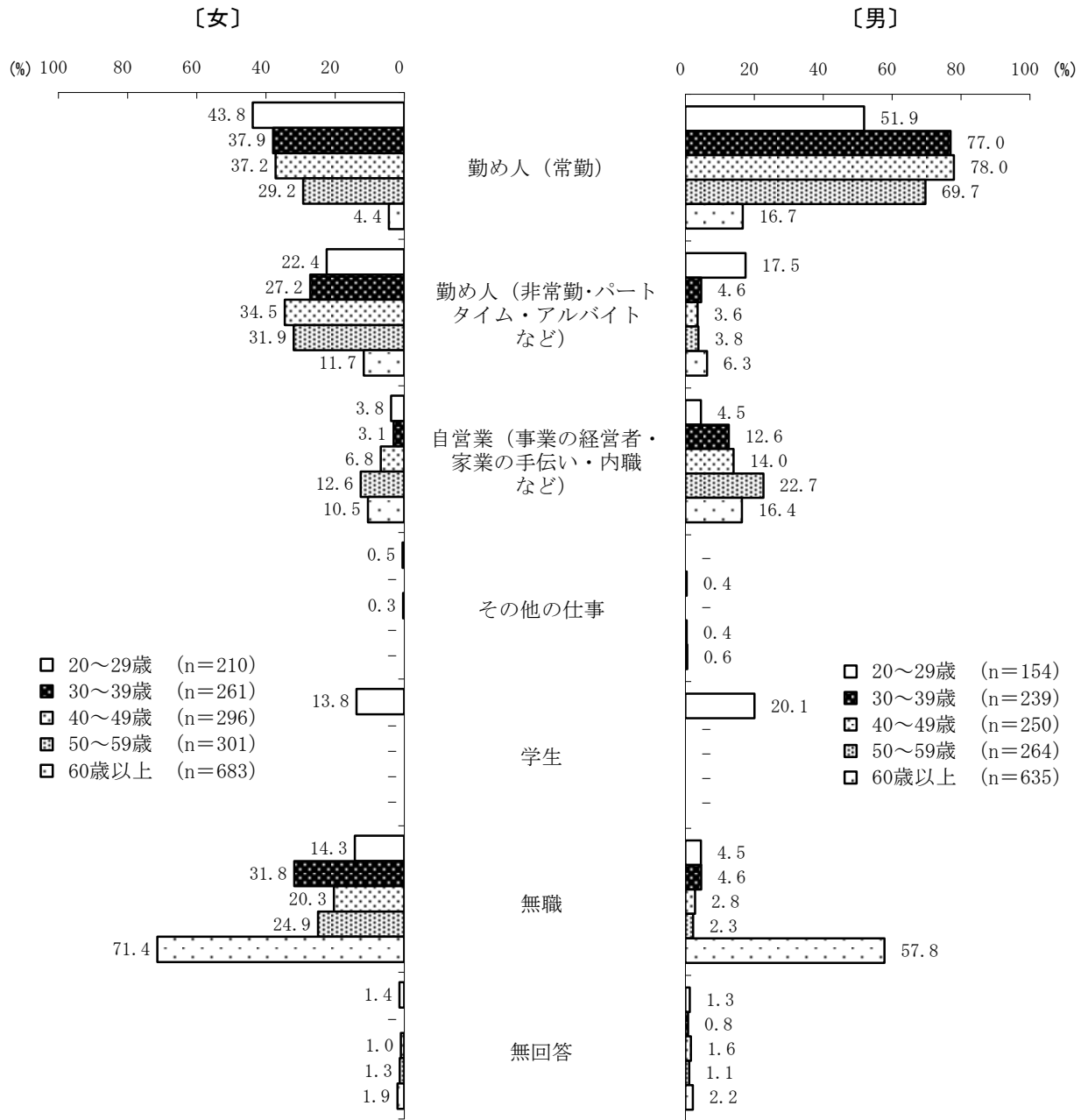


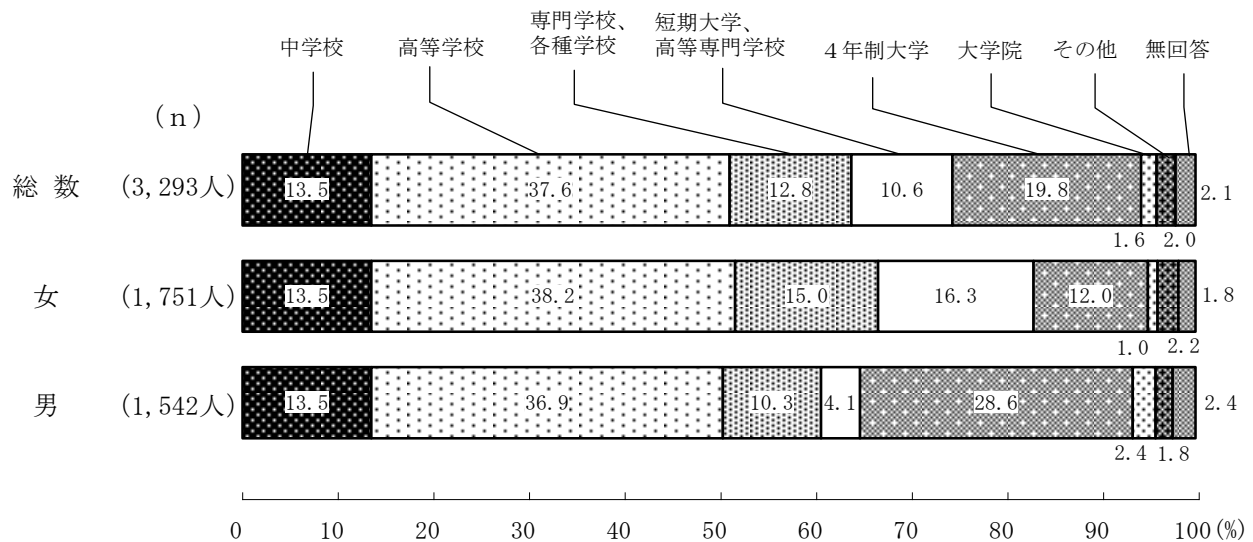
図4 職業(性・年齢階級別)



(4) 最終学歴

F 4 あなたが最後に卒業した学校は次のどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
 中退の場合は、最後に卒業した学校をお答えください。また、在学中の場合は、現在在学している学校をお答えください。(○は1つ)

図5 最終学歴



(5) 未既婚

問4 あなたは、現在、結婚していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。(○は1つ)
 なお、ここでの「結婚」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます。

図6 未既婚

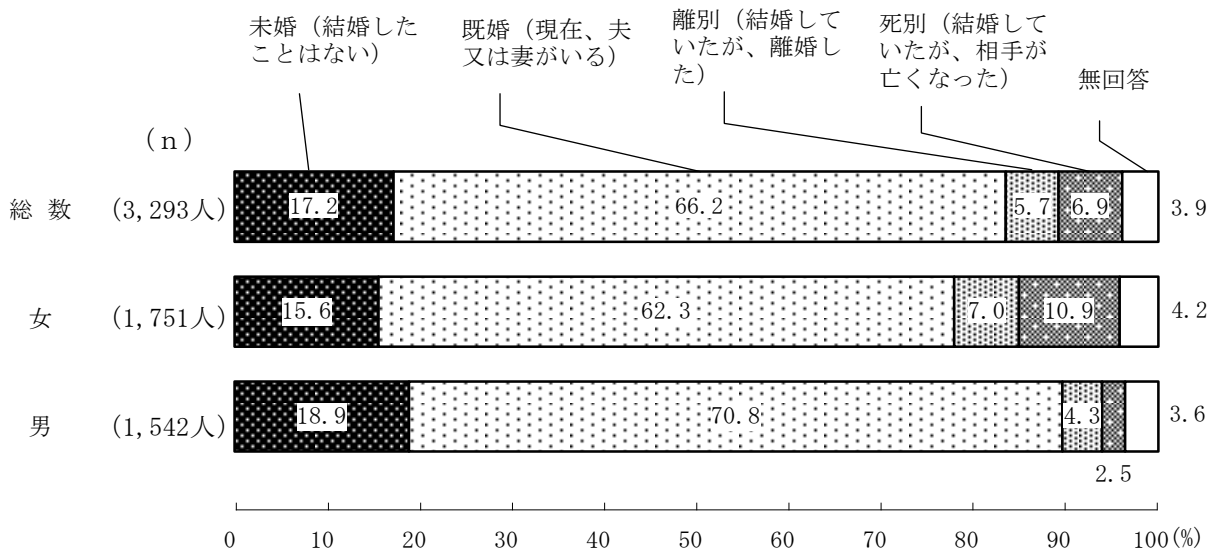
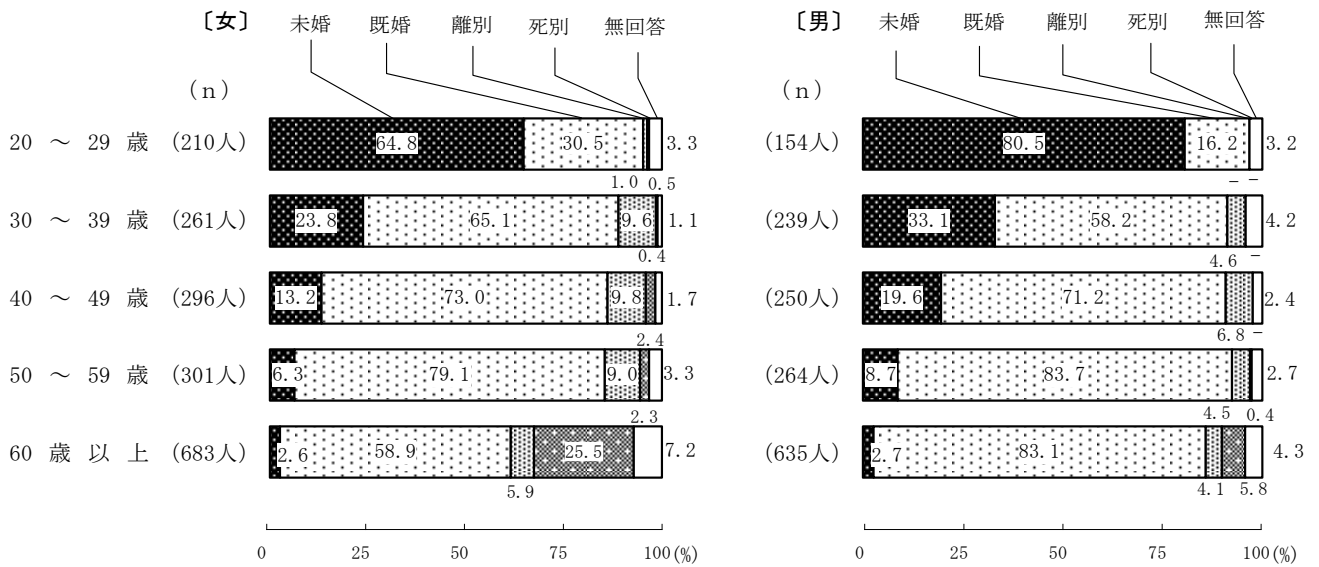


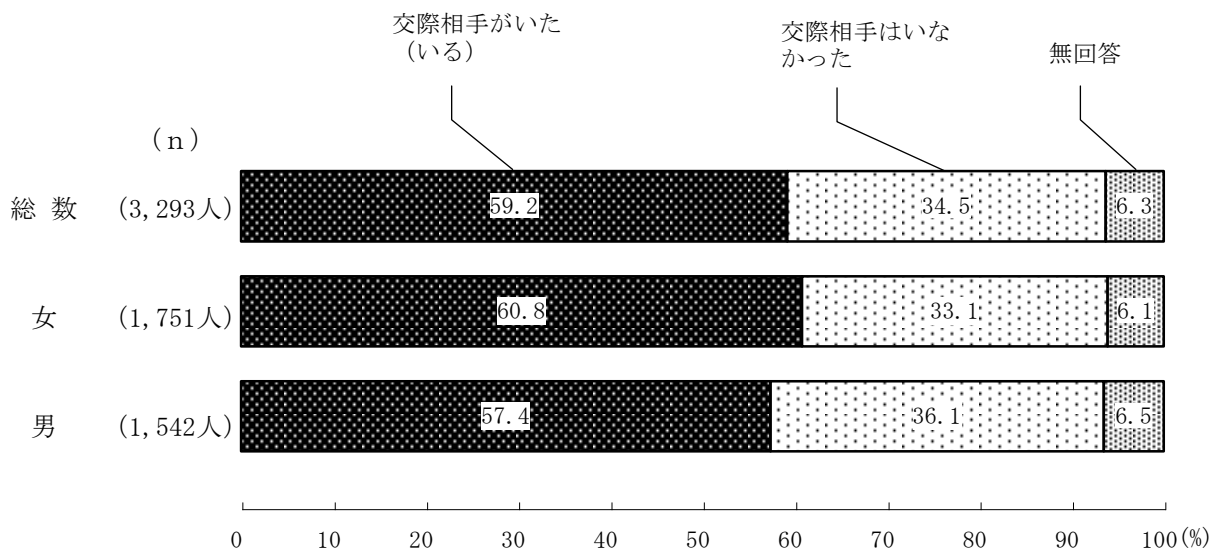
図7 未既婚(性・年齢階級別)



(6) 交際相手の有無

問 13 あなたの 10 歳代から 20 歳代の経験についてお聞きします。結婚している方、結婚したことのある方については、結婚前についてお答えください。
 あなたには、その当時、交際相手がありましたか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。結婚している方、結婚したことのある方については、後に配偶者となった相手以外についてお答えください。(○は 1 つ)

図8 10 歳代から 20 歳代の頃の交際相手の有無



9 この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数（3,293 人）又は分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第 2 位で四捨五入して、小数点第 1 位までを表示した。四捨五入したため、合計値が 100% を前後することがある。
- (3) 「(○はいくつでも)」と表示のある質問は、2 つ以上の複数回答を認めているため、回答計は 100% を超える。
- (4) 図表中 “-” は、回答者が皆無であることを、“0.0” は 0.05 未満の数値であったことを示す。
- (5) 「Ⅱ 調査結果の概要」では、分類別の回答者数が 50 人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、分類別の分析の対象からは外している。
- (6) 本調査で用いた都市規模区分は次のとおりである。
 - 大都市（東京都区部、政令指定都市）
 - 中都市（人口 10 万人以上の市）
 - 小都市（人口 10 万人規模の市）
 - 町 村